

第4考査 世界史B 問題

I、[]に入れるべき適語を記せ。なお語群に適語のあるときはそれを用いよ。

また下線部について設問に答えよ。

イングランドは、他のヨーロッパ諸国と異なって、①例外的に王権が強い国であった。こうした状況は12世紀成立した[1]朝になっても続いていた。しかし13世紀初頭の国王[2]が失政をくり返すと、貴族らが反発、国王に②大憲章を承認させた。さらに中期のヘンリ3世も失政が多かったため、反発したフランス出身の貴族[3]はこれまでの大貴族らの会議に都市や州の代表を加えた ③議会を開いた。

他方、当初はパリ近郊にしか勢力をもたなかったフランスの[4]朝の王たちは、[5]の遠征において指揮官となったことなどもあってしだいに勢力を力を伸していった。とくに[6]はイングランドからフランス西半を奪い、さらに④アルビジョワ十字軍に勝利し王権を南部にのぼすなど強大化していった。こうしたなかで 13 世紀末～14 世紀初頭の王[7]は⑤三部会という身分制議会を開いた。

しかし、14世紀フランスで[8]朝が成立すると、これに反発したイングランド王エドワード3世が王位継承権を主張、⑥イングランドとフランスの間で[9]戦争が発生した。戦争はイギリス優位のうちに推移、⑦フランスの荒廃が進み、フランス王の支配地域は南部を残すのみとなった。しかし15世紀、神の託宣を信じた農家の娘[10]が出現すると戦局は一変、1453年、イギリスはついにフランスから撤退した。

この戦争の終了直後、イギリスでは[11]戦争という内戦が発生、イングランド貴族は両派に別れてはげしく争った。内戦は[12]朝をたてたヘンリ7世によって終結、⑧この王の下で一挙に中央集権化が進んだ。

ヘンリ3世 フィリップ2世 フィリップ4世 ジョン カペー ヴァロワ テューダー プランタジネット

<設問>

①なぜ、イングランドは他のヨーロッパ諸国と異なって王権が強かったのか、その理由を記せ。

②(1)大憲章(マグナカルタ)に含まれる内容を1つ選べ。

- (ア)新課税は国王が一方的に決めるのではなく、高位聖職者と大貴族の集会の承認を要する。
- (イ)人間の自由・平等を定め、圧制に対する反抗の正当性を認めた。
- (ウ)国民に大幅な信教の自由を認めた。
- (エ)「目には目を、歯には歯を」といった復讐法の原則にたっていた。
- (オ)財産の大小によって市民の権利の大小を決めた。

(2)大憲章は、世界の「憲法」の出発点ともいわれる。大憲章の成立過程を踏まえて、「憲法」とはどのような性格をもつべきと考えられているのか、説明せよ。

③こののち、イギリスでは国王エドワード1世が議会を開催、議会制度が定着していった。イギリス議会の出発点となったこの議会をなんというか。

④アルビジョワ十字軍でフランス王たちがたたかったのはどのような勢力か、下から選び、記号で記せ。

- (ア)イベリア半島のイスラーム勢力 (イ)フランス西部のユダヤ人勢力 (ウ)フランスに植民をはかる騎士団
- (エ)フランス南部に勢力を張ったキリスト教の異端派 (オ)侵入してきたノルマン人(バイキング)

⑤フランス国王はなぜこのような議会(三部会)を開いたのか、その理由を、フランス王が真面目にしていた課題も示しながら、説明せよ。

⑥この戦争の原因は、王位継承の他に、フランスが毛織物業で栄えていた地方を獲得することにイングランドが反発したこともあげられる。その地方を選び、記号で記せ。

- (ア)シャンパーニュ地方 (イ)トスカナ地方 (ウ)バイエルン地方 (エ)プロバンス地方 (オ)フランドル地方

⑦この戦争中に1348年に発生した出来事によって、フランスの1/3の人口が失われたとされている。その出来事とは何か、記せ

⑧ヘンリ7世が、大貴族を裁くために開催した裁判所の名をいえ。

II、次の文章を読み、設問に答えよ。

<1> 中世の西ヨーロッパでは人間社会のすべてをカトリック教会が支配し、人々の生活や文化は教会の立場から評価されていた。美術も[1]建築とその装飾が中心であり、自由さや合理性の面ではそれ以前の時代から大きく後退していた。またこの時期、知識人や科学者は教会のことばである[2]語を用いる僧侶であり、②学問も神学が中心で、おもにキリスト教の教理を哲学的に体系化しようとする[3](哲)学が基本であった。しかし12世紀末ごろになると大聖堂や修道院の付属学校をもとに各地で③大学が生まれ、④哲学上の論争も繰り広げられた。

これにたいし文学は⑥各地を遍歴する[4]が伝えた騎士道物語が中心となっていた。

<設問>

1 文中の空欄[1]～[4]に適語をいれよ。

2 下線部②にかかわって、

(1)当時の神学と他の学問の関係を記した言葉を下から選び、記号でこたえよ。

- (ア)神を学ぶことが学問の基礎である (イ)神学なくして学問はなし (ウ)すべての学問は神学である
(エ)学問は神の前に無力である (オ)哲学は神学の婢

(2)この学問を大成させたトマス＝アクィナスの主著の名を記せ。

3 下線部③の大学にかかわって次の問に答えよ。

(1)イギリスを代表する二つの大学を下から選び、記号で記せ。

(2)哲学書などをラテン語に翻訳する中心となった、スペイン中部の大学を下から選び、記号で記せ。

- (ア)サレルノ大学 (イ)プラハ大学 (ウ)ポローニヤ大学 (エ)オクスフォード大学 (オ)トレド大学 (カ)ケンブリッジ大学

4 下線部④の学問において激しく対立した哲学上の二つの立場を選び、記号で記せ。

- (ア)実在論 (イ)観念論 (ウ)唯物論 (エ)名目論(唯名論) (オ)資本論 (カ)経験批判論

5 下線部⑥の騎士道物語にかかわって、民族移動期のブルグンド人の史実や伝説を素材とした13世紀に完成したドイツの大英雄叙事詩を下から選び、記号で記せ。

- (キ)『ローランの歌』 (ク)『カンタベリ物語』 (ケ)『アーサー王物語』 (コ)『ニーベルンゲンの歌』

<2> ヨーロッパ中世の寺院建築では、初期は(A)ハギアソフィア寺院やサン＝マルコ寺院に代表されるビザンツ様式が用いられたが、中期には(B)ピサの大聖堂に代表される石壁や内部の壁画に特徴をもつ重厚な[5]様式が多く用いられ、後期には主にアルプス以北で、[6]様式が増えてくる。(C)ケルン大聖堂やパリのノートルダム大聖堂などのような高い尖塔をもち、細ながい窓、内部の[7]が特徴である。

ルネサンス期には円形ドームにギリシア風列柱をくみあわせたルネサンス様式が発展した。16世紀、[8]が設計し、ミケランジェロが引き継いだカトリックの総本山(D)サンピエトロ大聖堂が有名である。

<設問>

6 文中の空欄[5]～[8]に入れるべき適語を下の語群より選び、記号で記せ。

- (ア)ゴシック (イ)ロマネスク (ウ)プラマンテ (エ)ステンドグラス (オ)モザイク壁画 (カ)アーチ

7 文中下線部(A)～(D)を別紙、(中世の建築物)の写真①～④から選び、その記号を記せ。

Ⅲ、以下の文章をよんで、設問に答えよ。

④ルネサンスとは、14世紀⑥イタリアで生まれ、15世紀に全盛期を迎え、16世紀には西ヨーロッパ各地にひろがった文化運動をさす。ルネサンスでは固定化した⑥カトリック教会の教義にとらわれず、[1]に生きる楽しみや理性・[2]を重視し、各人の[3]を尊重した。それをささえる思想となったものが⑦人文主義である。

ルネサンスがイタリアから始まった背景には、古代ローマ帝国の伝統、[4]貿易や遠隔地交易の発展、貿易を通して1453年に滅亡した[5]帝国からの学者たちが亡命してきたことなどがあげられる。

14～15世紀、ルネサンスの中心は[6]であった。この地は大富豪[7]家の庇護の下に文化が発展、14世紀には(a)『神曲』を書いたダンテや(b)『デカメロン』を書いたボッカチオなどがあらわれた。ボッティチェリが(A)『春(プリマヴェーラ)』を描いた15世紀の後半ごろ、この地は全盛期を迎えた。

しかし15世紀末になると、ルネサンスの中心は[8]にうつった。フィレンツェの象徴ともいえる『ダヴィデ像』をつくった[9]はシスティナ礼拝堂に(B)『最後の審判』の大壁画を描き、[10]は多くの聖母子像をのこした。他方、万能の天才といわれた[11]は各地をまわり、(C)『最後の晩餐』はミラノに残され、フランスで死を迎えた。有名な(D)『モナリザ』がフランスに残されるのはこういった事情による。16世紀に入るとイタリアにおける政治混乱はいっそう混乱、こうした状態への反発の中から、フィレンツェの外交官マキアベリは⑧『君主論』を著し、近代政治学の基礎を作った。

ルネサンスは、16世紀にヨーロッパ各地に広がっていった。イタリア以外で最も早くルネサンスがはじまったのは⑨ネーデルラントであった。絵画では民衆の生活を描いた(E)ブリュンゲルが現れ、また最大の人文主義者といわれ(c)『愚神礼讃』を著したエラスムスは宗教改革に大きな影響を与えた。⑩イギリスでは彼の友人トマス＝モアが(d)『ユートピア』を著した。さらにフランスではラブレーが『ガルガンチュア物語』を描き、[12]が『随想録』ですぐれた人間洞察を示した。またスペインのセルバンテスは(e)『ドン＝キホーテ』を著した。

《設問》

1. 文中の空欄に入れるべき適語を下の語群から選び、記号で記せ。なお同じ語は二度使わないこと。

(ア) 共通性 (イ) 個性 (ウ) 現世 (エ) 未来 (オ) 感情 (カ) 信仰 (キ) 大西洋 (ク) 東方 (ケ) パリ (コ) ローマ (サ) ビザンツ (シ) ヴェネツィア (ス) フィレンツェ (セ) ラファエロ (リ) レオナルド＝ダヴィンチ (タ) モンテーニユ (チ) メディチ (ツ) ミケランジェロ

2. 文中の下線部(A)～(E)の美術作品を別紙(ルネサンスの美術)の(あ)～(お)から選び、記号でこたえること。

3. 文中の下線部(a)～(e)の作品について説明した文を下から選び、記号で記せ。

- (ア) 騎士道物語にあこがれた老人が自分は騎士と思い込んで「遍歴」する物語。時代遅れの騎士道を批判した。
- (イ) 黒死病を逃れ集まった10人がその行いを話す形式をとり、当時の社会風潮を風刺したオムニバス集。
- (ウ) 欲望が、当時の教会や政治、社会などを動かしていることを風刺した作品。
- (エ) 詩人の魂が永遠の恋人ベアトリーチェの魂を求め、地獄煉獄天国をさまよう叙事詩。トスカナ方言で書かれた。
- (オ) 新大陸で探検隊が理想社会を発見したという形をとって、当時の社会を風刺・批判した作品

4. 下線部④にかかわってルネサンスとはどのような意味か、記せ。

5. 下線部⑥にかかわって、当時のイタリアの状況について記した文を2つ選び、記号で記せ。

- (ア) 神聖ローマ皇帝が侵入、そのもとに統一国家が形成される過程にあった。
- (イ) イタリア王が存在はしていたがその力は弱く、都市国家などが乱立、抗争をくり返していた。
- (ウ) 神聖ローマ皇帝やフランス王など諸外国の介入を受けることが多かった。
- (エ) 国内は都市国家に分裂していたが、フランスの侵略に介入に対しハンザ同盟などを結成、協力してたたかった。
- (オ) 皇帝党と教皇党に分かれ、抗争がくり返されていた。

6. 下線部㉔にかかわって教会とルネサンスの関係をただしく記した文を2つ選び、記号で記せ。

- (ア) 地動説を唱えたジョルダーノ＝ブルーノやガリレイら科学者の中には宗教裁判にかけられたものもいた。
- (イ) 多くの知識人がカトリック教義を古くさく非合理的なものとして批判したため、つねに緊張した関係にあった。
- (ウ) 教会は、科学の発展や新たな芸術を援助し、その保護に努めた。
- (エ) 中心となった学者や芸術家は都市の教養人であり貴族的性格を持っており、教会の援助の下に活躍するものも多かった。

7. 下線部㉕にかかわって、人文主義について説明せよ。

8. 下線部㉖の『君主論』の主張を示すものを1つ選び、記号で記せ。

- (ア) 君主は目的のためには手段を選ばないこともある。
- (イ) 良心と信義は命をかけて守るべきだ。
- (ウ) 君主の権威は、神聖であり国民が犯すことのできないものである。
- (エ) 君主とは、国民の先頭に立って働くべき召使いのようなものだ。
- (オ) 君主とは国家そのものである。

9. 下線部㉗ネーデルラントとは現在のどこの国にあたるのか、下から2カ国選び、記号で記せ。

(ア) チェコ (イ) スロバキア (ウ) ポーランド (エ) ベルギー (オ) オランダ (カ) デンマーク (キ) スウェーデン

10. 下線部㉘の16世紀イギリスで活躍し、「ハムレット」「マクベス」「ヴェニス商人」などを残したイギリスの代表的劇作家は誰か。

IV、以下の間に答えよ。

1. ドイツの歴史にかかわる事項を古い順にならべるとその記号はどのようになるか。解答用紙の指示にしたがってならべよ。

A. 金印勅書の発布 B. 大空位時代 C. ハプスブルク家が事実上皇帝を世襲

2. 国土回復運動について説明せよ。

3. スペイン王国は 1479 年カスティリヤの女王と、アラゴンの国王の結婚によって成立する。この二人の王の名を記せ。

4. 14世紀末、北ヨーロッパのノルウェー・スウェーデン・デンマークの三国は、デンマーク女王マルグレーテを共通の君主とする同盟を結成する。この同盟の名をいえ。